

eGEN V350R1

リリースノート

eGEN V350R1

■ eGEN

- 1. 改善機能 剛域応力の改善 . . . 01
- 2. その他改善機能一覧 . . . 02

■ BIMコンバータ

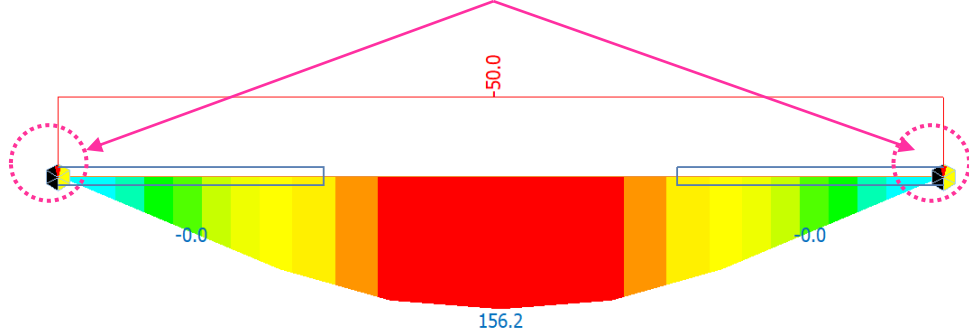
- 3. 改善機能一覧 . . . 04

1. 改善機能 剛域応力の改善

剛域があるモデルで、剛域内に荷重が入力される場合に節点応力が釣り合わないという問題がありました。今回のリリースでは、剛域内に荷重が入力された場合でも節点応力が正しく計算されるように改善しております。

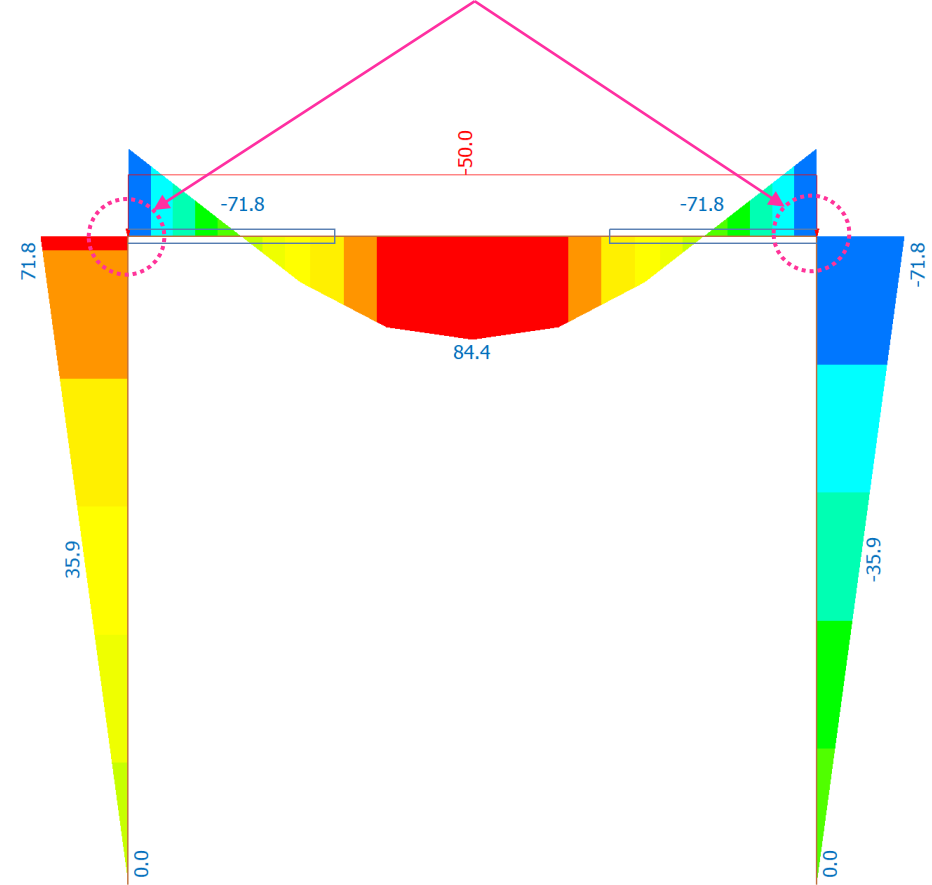
① 両端ピンのモデルの剛域内に荷重が載荷された場合

両端ピンのモデルの端部応力が0となるように改善しました。



② フレームモデルの剛域内に荷重が載荷された場合

フレームモデルの節点応力が釣り合うように改善しました。



2. その他改善機能一覧

[動作]

内 容
柱梁仕上げ荷重設定後に材料を変更するとモデルが開かなくなる不具合があったため修正しました。

[計算]

○上部計算書

該当頁	内 容
表紙	一貫計算の実行OSが正しく表示されるように修正しました。
6.1.8節(梁剛性の増減係数及びスラブの剛床仮定)	梁剛性の増減係数の計算に誤りがあったため修正しました。
7.1.2.1節(剛節架構の応力割増率)	積雪荷重の地域設定を一般地域にした場合に、柱の長期軸力NLに積雪荷重時の軸力が採用されていたため修正しました。
7.5節(柱の断面検定表)、7.6節(梁の断面検定表)、7.7節(耐震壁の断面検定表)、7.8節(ブレースの断面検定表)、7.9節(柱、梁接合部の断面検定表)	断面検定表の凡例の内容を修正しました。
7.5.2.2節(RC柱の付着検定表)	鉄筋コンクリート造の柱の許容付着応力度に“上端筋”の式を適用していたため、“その他の鉄筋”の値を採用するように修正しました。また、設計用せん断力QDは7.5.1.2節の柱の断面検定表に記載の値と同じものを記載するよう修正しました。
7.6.3.3節(鉄骨片持ち梁の断面検定表)	鉄骨造の片持ち梁の中間に小梁がつく場合に、Lbを実寸法の2倍として許容曲げ応力度を算出する不具合があったため修正しました。
7.11.3節(ベースパックの検定表)	検定表の強軸、弱軸周りの回転剛性の値が逆に出力される不具合があったため修正しました。
7.11.4節(ハイベースの検定表)	強軸、弱軸周りの回転剛性を同じ値として断面検定される不具合があったため修正しました。
7.12節(柱梁耐力比)	柱に対して梁が斜めに取り付く場合の柱梁耐力比の計算方法を修正しました。
11.6.5節(層耐力比)	層耐力比のアスタリスク*が表示されないように修正しました。 各層のパネル耐力をX、Y方向ごとに出力するように修正しました。

2. その他改善機能一覧

○基礎計算書

該当頁	内 容
4.3.1節(基礎配置図)	独立基礎、布基礎、べた基礎の水平力算定グループが表示されないように修正しました。
4.3.2節(地盤情報配置図)	布基礎、べた基礎に地盤データが表示されるように修正しました。
5.2.3節(べた基礎の許容支持力度)	形状係数を計算するための短辺長さBと長辺長さLが逆に出力される不具合があったため修正しました。
7.1.1節(杭基礎の設計)	杭のパンチングの検討において、1本杭のパンチングの破壊面の外周長 b_0 の計算に誤りがあったため修正しました。

3. 改善機能一覧

[eGEN→STBの改善]

内 容

eGENからSTBに書き出す際、微小な節点座標のズレがある場合に柱の回転角度が変わってしまう問題があったため修正しました。

[eGEN→iGENの改善]

内 容

符号別変換を実行した際に、グループなし部材がある場合は断面サイズ別で変換される処理となっています。この処理の過程で、同一断面の断面IDが設定されているモデルで変換エラーが発生していたため、修正しました。

[iGEN→eGENの改善]

内 容

ボックス断面を使用していると変換されない不具合があったため修正しました。

iGENの単位がmmの場合にeGENの通り芯と寸法の文字の大きさが1/1000倍で出力される不具合があったため修正しました。

同一平面ではない板要素の変換ができない不具合があったため修正しました。